

医療・福祉・教育情報誌の発行

平成7年、正孝氏は「もっと地域に密着したい、地域に役立つ情報を提供したい」との想いから、情報誌『しあわせ』の発行に至った。情報がバラバラに発信されていた医療、福祉、教育の情報をまとめた内容とし、印刷・発行は株式会社セイキ、発行責任者は岡山福祉・教育研究所所長の三村勉氏である。創刊号のなかで三村氏は「高齢化社会をどのように乗り切るかはどこにあっても大きな課題である。高齢者をどう世話をしていくかで、その地域社会の質が決まり、成熟度がわかる。人生80年となった今日の長命社会において、すべての世代の者がそれぞれの人生の段階で、生活自立と社会的自律が可能となる共生福祉社会、喜びや悲しみを共感し合える連帯社会を願うものである」と同誌発行の目的を語っている。

『しあわせ』誌は年3回各5000部発行、岡山市社会福祉協会、小・中学校幹部、医院等へ無料で配布されており、広告はない。用紙は岡山紙業より提供されているが、他の費用はすべてセイキの負担である。各号ごとに「老人福祉について」「障害者福祉」「21世紀の医療を目指して」といった特集を組んでおり、現在は年3回発行されている。『しあわせ』誌の発行を通じて正孝氏は地域社会の向上に真剣に取り組んでいるたくさんの人々と知り合うことができた。

こうした地域活動のなかで、本年3月、岡山福祉・教育研究所が公的にNPOとして認定され、三村勉氏が理事長に就任、事務局に生活部、福祉部、教育部、調査・研究広報部の4つが設立された。正孝氏は調査・研究広報部の責任者として情報誌、新聞の発行を担当し、本年4月に情

報誌『すずらん』を創刊した。

NPO活動において印刷業の果たせる役割は大きい。平成10年に施行された「特別非営利活動促進法」(NPO法)は、これから社会のなかで公共的なサービスの提供を目的とするボランタリートークの市民活動にとって力強いバックアップとなっている。NPO法は、福祉、教育、街づくり、環境など12の分野の活動を行う団体に、従来の公益法人のように官庁の許可などの裁量によることなく、比較的簡単に法人格を付与するものである。

「印刷業を通じて地域社会に貢献する」この生涯テーマを追求してセイキはこれからもますます地域の人々にとって、なくてはならない存在になろうとしている。



●一言集約

情報に対する感性を磨く

正孝氏は好奇心が旺盛である。経営者としてわからないことはどこへでも出かけていき、どん欲に吸収する。「高度情報化社会の現在、印刷業の経営者は自ら懸命に情報収集に努めなければ時代に取り残される」「必死になればまわりの人が助けてくれる」情報への感度を高めることに努めながら、正孝氏は得意のデータ処理サービスを通して地域の発展へのお役立ちを深めていくものと期待されている。

田中 肇

たなか経営研究所(電話045-788-5525)所長
印刷業の総合コンサルタントとして印刷業界の業態革新をプロデュース。

全日本印刷工業組合連合会 特別顧問